あなたの慈しみは天にまで及び

2024年2月17日　第7課

「主よ、わたしは
もろもろの民の中で
あなたに感謝し、
もろもろの国の中で
あなたをほめたたえ
ます。あなたの
いつくしみは
大きく、天にまで
及び、あなたの
まことは雲にまで
及びます。」
(詩編 57:9, 10, 口語訳)

主よ、諸国の
民の中でわたしは
あなたに感謝し
国々の中でほめ歌を
うたいます。
あなたの慈しみは
大きく、天に満ち、
あなたのまことは
大きく、
雲を覆います。」

(詩編 57: 10,11, 新共同訳)

ダビデが神の箱舟をエルサレムに移したとき、彼は歌った：
「その慈しみは永遠に続く」（歴上 16:34 ）

ソロモンの神殿に箱が置かれたとき、レビ人は歌った：
「主は恵みあり、／そのあわれみはとこしえに絶えることがない」（歴下5:13 ）

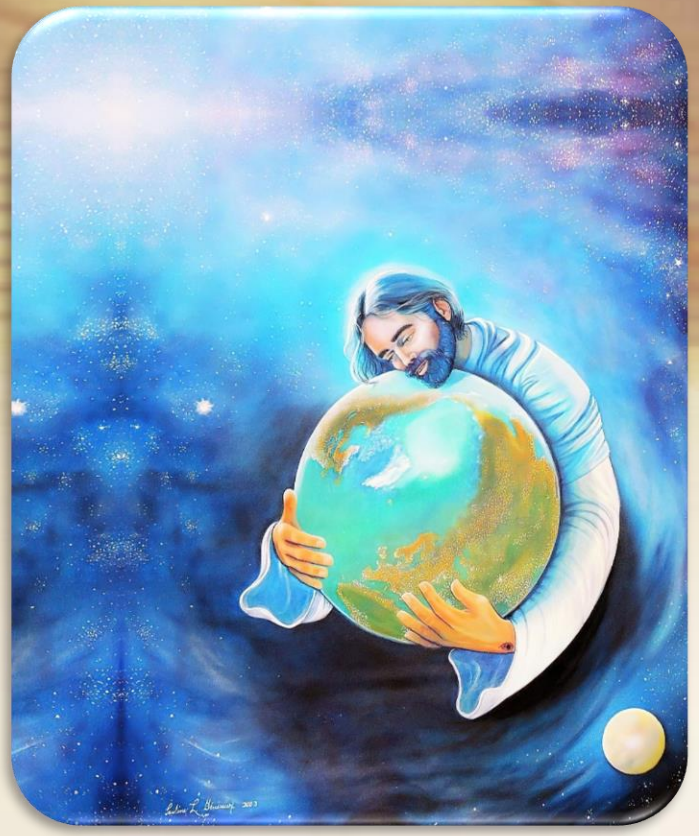
神の火が全焼のささげ物を焼き尽くしたとき、彼らは繰り返した：
「主は恵みふかく、／そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」（歴下.7:3 ）

エホシャファトが戦いに出たとき、レビ人は歌った：　「主に感謝せよ、／そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」（歴下20:21 ）

ゼルバベルが新しい神殿の土台を築いたとき、こう歌われた：「主はめぐみ深く、／そのいつくしみは／とこしえにイスラエルに絶えることがない」（エズ3:11 ）

詩篇100篇、103篇、106篇、107篇、118篇、136篇、138篇にも同じフレーズが繰り返されている。

エレミヤは、エルサレムが回復したときの歌を預言した：『万軍の主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみは、いつまでも絶えることがない』（エレ33:11）



神の愛が永遠であるとはどういうことか？

その愛は何から成っているのか？

その愛は私にどんな恩恵をもたらしてくれるのか？

私はその愛にどのように応えればいいのだろうか？

神の愛:

- 永遠に続く愛 (詩篇 136篇)
- 変容させる愛(詩篇 51篇)
- 赦す愛 (詩篇 130篇)

神の愛に対する人間の応答:

- 賛美と信頼(詩篇 113 篇、123篇)
- 祝福と称賛(詩篇 103篇)

神の愛

永遠に続く愛

主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。(詩篇 136:1)

詩篇136篇は対位法的な歌である。その26節それぞれにおいて、合唱の一方が神を賛美し、もう一方がその賛美を正当化する理由を答える：“その慈しみはとこしえまで続くから"

ヘブライ語で“あわれみ”と訳される言葉は、“慈愛”、“愛”とも訳せる。神はその永遠の愛によって何をなさるのか？

主は、私たちを取り巻くすべてのものを創造し、驚くべきわざを行われた（詩篇136:1-9）

イスラエルを奴隷状態から解放し、約束の地に定着させた（詩篇136:10-22）

現在、主は私たちを気遣い、救い、支えてくださっている（詩篇136:23-26）

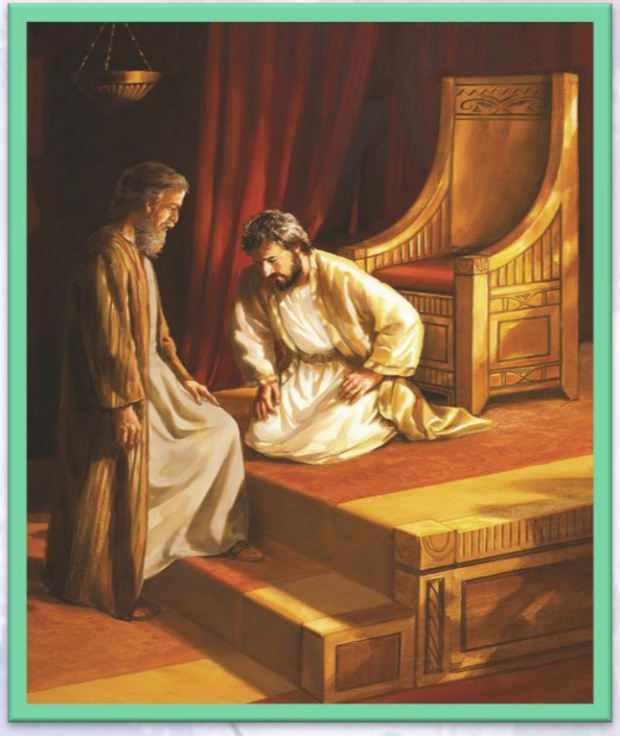
神の愛は、神を愛する者だけに影響するのではない。神は「生きとし生けるものすべてに食物を与える」（詩136:25）。その愛に思いを馳せながら、詩篇の作者は賛美歌の最初と最後を、私たちに神を賛美するように招いている（詩136:1, 26）。

(日)
神様の慈しみを経験したことについて、
分かち合いましょう。

変容させる愛

「 神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしのうちに新しい、正しい霊を与えてください。」（詩篇51篇10節）

詩篇51篇は、「ダビデがバテシバと通じたので、預言者ナタンが彼のもとに来た」（前書き）その瞬間まで、自責の念がダビデの魂を苦しめていた。今、彼は神の前に心を開き、罪を軽減したり正当化したりすることなく、自分の罪を告白した。



彼は、神がその大いなる愛ゆえに、彼の罪を清め、彼の罪を完全に消し去ってくださることを知っていた（詩51:1-2、7-9）。
しかし、驚くべきことに、ダビデはさらに踏み込んでいる。彼は赦しだけでは満足しない。もし人生に変化がなければ、私たちは罪を犯すことを止められないままである。私たちには変容が必要なのだ。

神は、私たちの中に清い心と正しい精神を創造するという奇跡を起こすことができるし、それを望んでおられる（詩51:10）。
赦され、私たちが霊的に生まれ変わる時、喜び、証し、歌、賛美が生まれる（詩51:12-15）。そして神は、私たちの謙虚な愛の賛美を受けることを喜ばれる（詩51:16-19）。

(月)
神様の赦しの目的とは、
何だとおもいますか？

赦す愛

主よ、あなたがもし、もろもろの不義に／目をとめられるならば、主よ、だれが立つことができましょうか。 しかしあなたには、ゆるしがあるので、人に恐れかしこまれるでしょう。(詩篇 130:3-4)

詩篇130篇には二つの主要なテーマがある。

赦し

罪は深い淵であり、罪人はそこから神に向かって叫ぶ（詩130:1-2）。私たちの声に耳を傾けるとき、主は私たちを見て、何を見るだろうか？

もし主が私たちの罪に目を留めるなら、私たちは終わりだ。

（詩130:3）

しかし、神の愛に満ちた目は悔い改めた罪人を見つめ、赦しを与える（詩130:4）

この神の態度は希望を生む。それゆえ、私たちは自信を持って神の赦しを受けるのを待つ。

待つこと

私たちは特に、主の唇から聞く栄光の朝を待ち望んでいる：「主人と一緒に喜んでくれ」（マタ25:21、詩130:5-6参照）。

神がイスラエルをそのすべての罪から贖ってくださる」（詩130:7-8）とき、神の民は皆、この切なる待望に参加する。

（詩130:7-8）。

(火)
私たちはなぜ
教会という共同体の
一部である必要があるのですか？

「私たちはイエス・キリストに隠れる。私たちは主の愛に信頼する。主が無限の愛で私たちを愛してくださっていることを、私たちは日々信じよう。あなたを落胆させ、悲しませるものは何もない。神の慈しみを思いなさい。神の恩恵と祝福を思い起こしなさい。[...]主への賛美がいつも私たちの心の中に、心の中に、そして唇の上にあるように。

EEGW (Lift up your eyes, January 16)（非公式訳）

神の愛に対する人間の応答

賛美と信頼

主をほめたたえよ。主のしもべたちよ、ほめたたえよ。
主のみ名をほめたたえよ。(詩篇 113:1)

詩113篇と123篇は、私たちが主を賛美し、信頼するためにどのような理由を与えてくれるのか。

詩篇113:4	主はすべての国と天を高く超えているから
詩篇113:5-6	主は高いところに住んでいるにもかかわらず、私たちの所へ降りてこられたから。
詩篇113:7-8	主は、貧しい者、困っている者を引き上げてくださるからだ。
詩篇113:9	主は、驚くべき業（不可能を可能とする）を行うからだ。
詩篇123篇	主は、軽蔑されている私たちを憐れんでくださるからだ。

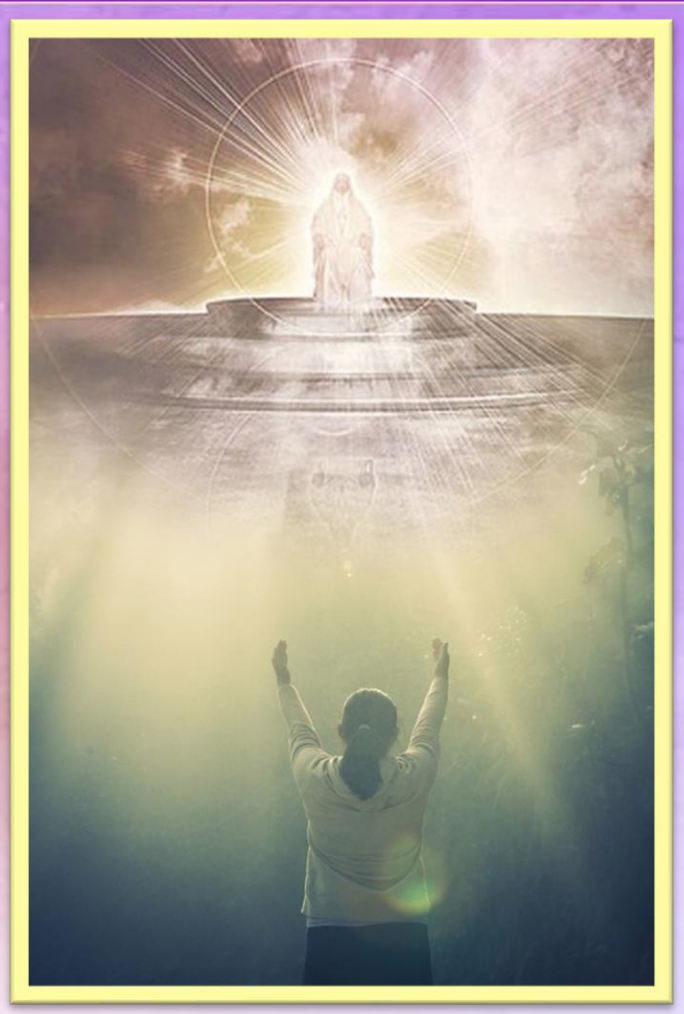
要するに、私たちは神の力、奇跡、愛、そして神が偉大であるにもかかわらず謙遜であるゆえに、神を賛美するのである。

十字架の上で、私たちはこれらすべての神の属性を一緒に見ることができる。イエスの大いなる愛は、イエスを私たちのために「死に至るまで」へりくだらせた（フィリ.2:8）。これは称賛に値しないだろうか。私たちは、この力強く愛に満ちた救い主に全面的に信頼してはならないだろうか。

(水)
毎日、十字架を心に留めることにより、
私たちの生活は
どのように変化するでしょうか？

賛美と感嘆

わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。(詩篇 103:2)



主は私たちにどんな恩恵を与えてくださるのか？

- 罪をことごとく赦してくださる(詩 103:3上句)
- 病気を癒して下さる (詩103:3下句)
- 人生を死の穴から救い出す (詩103:4上句)
- 慈しみと憐れみを与えてくれる (詩103:4下句)
- 彼は私を満足させてくれる (詩103:5上句)
- 彼は私を若返らせてくれる (詩103:5下句)
- 私が暴力に苦しむとき、彼は正義を行う (詩103:6)
- 彼は私に計画を知らせる (詩103:7)
- 彼は私を愛し（憐れみ・恵み・慈しみ）忍耐強く、怒り続けない。(詩103:8.9)
- 主はわたしの罪に応じてわたしに報いられない(詩103:10-11)
- 彼は私の罪を覚えておられない(詩103:12)
- 主は、私が塵に過ぎないことを知っておられ、私を憐れんでくださる(詩103:13-18)

これらの優しさに応えて、私たちは天使たちと共に主を賛美する（詩103:19-22）。賛美は、神の威厳と御業を認識し、神のいつくしみ、憐れみ、知恵に礼拝で応えるときに始まる。

(木)
あなたの毎日の生活で、
安息日以外にも、
主を祝福することはできるでしょうか？

「落胆して沈んではならない。気弱な者は強くされ、意気消沈している者は希望が持てるようになる。神はご自身の民を優しく顧みておられる。神の耳は彼らの叫びに開かれている。私は神の大義を恐れていない。神はご自身の大義を大切にされる。私たちの義務は、自分の地位と居場所を満たし、十字架のふもとでへりくだり、神の御前で忠実で聖なる生活を送ることである。そうしている間、私たちは恥じることなく、魂は聖なる大胆さをもって神に打ち明けるだろう。[...]私の心は固定され、神に信頼している。私たちには全き救い主がおられる。その豊かな充満を喜ぶことができる。私はもっと神に献身し、神に奉献したいと切望しています」。

EGW (Reflecting Jesus, December 3)（非公式訳）